



1. 認知症周知啓発月間報告

①認知症川柳：高齢者福祉課で投票した見守り関連川柳「認知症みんなで見守るやさしさを」をポワール賞に追加し、合計13句の川柳を選出しました。

小学生は小学校長から表彰、大人7名へは次回のポワールの会で表彰を行いたいと思います。

平成30年1月17日(水) 13時30分：表彰 14時～15時30分：意見交換会

いつもと時間が変わります！是非皆様にも表彰を盛り立てていただけたらと思っています。

②認知症パートナー・ひだまりカフェ：14名の認知症パートナー受講があり、そのうち8名の方が、その後もメモリーウオークやひだまりカフェ話し合い活動に参加してくださっています。ひだまりカフェは、場所候補(白井駅北口養老の瀧)、物忘れについて話が共有できる場・ひとりではできないことを実現させる場をテーマに当事者支援の場として次回よりプレ実施していきます。物忘れによって外出が不安になっていたり、自信をなくしている等対象の方がいましたら、ご紹介ください。

③認知症メモリーウオーク：来年度以降の実施について意見をいただきました。市としては、実施内容への縛りによる準備等の負担から、県からの補助金をもらっての実施はやめる方向で考えています。しかし、継続実施することについて前向きな意見もみられました。周知効果と事務分担等について、来年度の募集があり次第再度検討したいと思います。

2. グループワーク(家族支援)について

前回の話し合いの結果から作成したアンケートの素案について検討しました。

① アンケート全体について

- ・実施を想定しているものが介護保険サービス外であるならば、その記載が必要。
- ・皆さんの困っていることを記入してもらうように説明に記載する。
- ・介護支援専門員が裏面を記入の上で家族へ渡し、郵送などでも可とすることから市へ提供する情報に、個人の特定は行わないが市へ提供する情報があることに了解したうえで回答となることを記載しておく。
- ・質問項目は簡単で少ない方がよいので、現状の項目で問題ない。

②各アンケート項目について

【介護者への支援】5長い時間預かってくれる場所があると良い

⇒5長い時間(夜間も含めて)預かってくれる場所があると良い

【介護支援専門員記入欄】

- ・結果を分析する際にサービス利用量も関係することから、サービス頻度の記入をするとよいのではないか。
- ・介護者の就労状況を記載する。
- ・自立度については、指標をケアマネの依頼の際に同封し、ケアマネが関わる中で判断して記載してもらうこととする。

③今後の流れについて

今日の意見を踏まえて修正をしたうえで、課内の決裁を取り、ケアマネに依頼。今年度中にアンケートの実施を行えるように準備し、来年度から分析、モデル事業化を図っていく。

3. グループワーク（当事者支援）について

・地域で認知症症状のある方への対応について周りが混乱し、どうしていいかわからないと相談があったケースから、「地域で支える当事者支援」について話し合いました。

- ・まず認知症について理解していることで**気づきがあったことが支援の第一歩**。
- ・障害者マークのように障害面の表出があると支援者としてはわかりやすい（**困りごとが見て分かれると支援しやすい**）が、現在は当事者が表出しているケースは少なく難しいため、**察することが必要**。
- ・察したとしても、認知症症状は、その人の性格や生活史や家庭環境などによってそれぞれ違うため、**本当に相手の症状を理解するには時間が必要**。専門職でも時間のかかる作業である。（地域での対応に混乱するのも当たり前であるということ）
- ・認知症の症状を察したとしても、周りのルールにのってくれないから周囲の人が困る。**状況によって、感情的になるのは人間として当たり前**であること。施設職員がいるグループホームやデイサービスでは、本人の状況を説明してくれる人がいるから、地域とのやりとりが成り立つわけで、日常生活では家族以外にいないことの方が多い。
- ・認知症の症状があるからと言って、**おせっかいになり手を出しすぎるのも良くない。明らかに困っているところをサポートすればいい**。
- ・認知症への対応のうち、**こちらの感情が伝わりやすいということへの対応のポイント**を伝えることができればいい。

※上記のような話をふまえ、紙面ではなく感覚的に伝えないと難しいとの話し合いにもなったのですが、当事者支援につながる認知症の人への対応方法を伝える手段となる**市独自の共通の媒体**を作成していきたいと思います。**一般向けのもの**「窓口相談時やケース対応（家族への指導時等）、地域のサロン等への周知、認知症サポーター養成講座等」や**企業・店舗従業員向けのもの**「休憩室に貼って貰う、配布してもらい指導を依頼するなど」に使用、誰もが使用できるものとしていきたいと思います。

チラシについての次回以降意見を聞いていきたいと思います。

次回は：**1月17日（水）13時30分～15時30分**

場所：白井市保健福祉センター3階 団体活動室



「**パワーの会（認知症対策連絡会）**」担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 安岡・山本

電話 047-497-3474 FAX047-498-4832 メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp

